

令和3年7月1日

鉄道建設・運輸施設整備支援機構  
理事長 河内 隆 殿

鉄道助成業務の審査等に関する第三者委員会  
委員長 杉山 雅洋

### 鉄道助成業務に関する改善意見

これまで提言してきた改善意見について、令和2年度も適正に遂行されていると評価している。鉄道助成業務のさらなる充実・強化のため、下記の意見を提出するので、着実に実施されたい。

#### 記

#### (1) 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた補助金審査の適切な対応

令和2年度の補助金審査業務で新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策に鋭意取り組んできたことは評価できる。新型コロナウイルスの動向は見定めにくいので、令和3年度においても引き続き状況に応じて適切に対応されたい。その際、令和2年度の感染拡大防止対策の経験を最大限に活用されることが望まれる。

#### (2) 「補助金審査の主な着眼点」の周知徹底

令和2年度に行われた「補助金審査の主な着眼点」の周知は、補助事業者への注意喚起をもたらし、補助金の適正使用の面等での効果が期待されることから、これを適宜更新し、周知徹底を行われたい。

#### (3) 鉄道助成業務でのデジタル化の可能性の検討

デジタル化の追求は時代の社会的要請でもあり、鉄道助成業務での導入の可能性も問われうるため、補助金審査業務へのITの活用も含めてその可能性を検討されたい。